

校友さんしや

立命館大学産業社会学部校友会報
編集人 谷垣利治
発行人 都島正喜
発行所 産業社会学部校友会
〒603
京都市北区等持院北町56-1
電話 (075)465-1111(代表)
振替 京都3-19595



記念式典、事務室、プロゼミ、工場

見学、食堂風景、学園祭、学術館、新

歓風景へと表紙の写真はかわってきた。

「校友さんしや」も発刊以来、7年

を経過し、この間、大学も大きく変貌

してきた。あらためて、月日のへだた

りを感じさせられる。

今号については、大学の北に位置す

る観光道路から立命館大学正門、体育

館、中川会館などをのぞむ学園風景が

掲載されることになった。

本号が発行される頃には、秋の多彩

な行事がひしめきあい、このキャンパ

スも活気に溢れかえらなばかりとなっ

ているだろう。

(題字は元校長・細野武男氏)

私が立命を卒業して三年と半年が過ぎました。こうして真っ白な原稿用紙を前にしていると、卒業式の日、友と別れを惜しんで涙し、実社会へ旅立つ

「私の宝物」

法律事務所勤務
山岸 桃子
(88年卒)



期待と不安を胸にした、あの甘酸っぱい思いが優しくよります。ああ、私が母校立命で得たすべてのものは、何とかかえのけない恵みであったことか。

先日、所用で大学を訪れる機会を持った。近くに住んでいながら数年ぶりであった。大学時代の時の店が残っている。すぐにタイムスリップできる。新しい店も次々と出ていた。一歩門内に入ると大学の雰囲気を感じた。そして出来ることならもう一度学び直したいと思った。事務室が知らぬ間に学術館から研習館に移っていた。談話室がともきれいな感じになった。目を見張るばかりだった。六年の歳月を感じた。

門の外に出て再び現実の姿に戻ると、大学の有難さを感じた。働くことのきびしさ・つらさを感じた時、同輩ががんばっていることが、ずいぶん励みになる。全国から集り来ている大学ならではの。全国いたる所で友が、がんばっている姿が奮い立たせる。自分は三〇近くになってもまだまがいて回りが次々と結婚していく中で正直あせりがある。しかし自分の天職を見つけた。周囲の雑音をはねのけて努力をかけているところである。これまでの社会経験を無駄にせず、回り道になろうが精進していきたい。

「6年の歳月」

勤務
近 永 光 章
(85年卒)



私達を結ぶものの大きさをつくづく感じさせるものでした。友も今何処かで頑張っているのだという思いが私を奮い立たせます。

原稿用紙も埋まり、校友の皆様のご活躍を心からお祈り申し上げるを置きます。

福山通運等)
立命OBの末席をけがす一人としてそれらを聞くたびに、うれしいような、自分もフンドシをしめ直さねば……と自戒の念を強くしたりする毎日です。

余力を残していると思う。スポーツ推せんを強化し、優秀な新入生を確保し毎日の地道な練習で、能力を磨き、強くなるにはこれしかない。スポーツ推せんや他の推せんをあまりすると、大學生の本分たる学問への探求等がおろそかになり……と危惧する意見も一理ある。しかし今後、出生率の減少に拍車がかかり、學生の確保が困難になるのが明らかな以上、立命としても多くのセイルポイント(学問・スポーツ・その他)を有し、優秀な高校生を確保すること、それが一番大切ではないかと思えます。

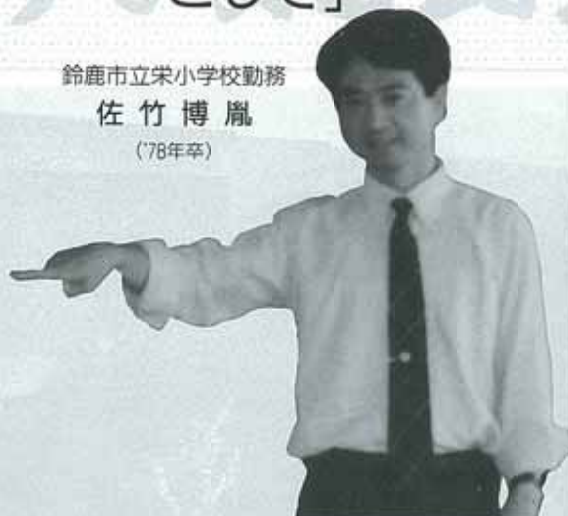
私は、二年間地元名古屋の経営コンサルティング会社に務めたのち、現在家業の法律事務所の事務に携わっています。ここでは、民事・刑事、社会のあらゆる分野での事件があり、その中には現代特有の社会問題を如実に反映する事件もあります。様々な社会の場での人間模様が繰り広げられ、色々な人々の姿を垣間見ることができ、日々深く考えさせられることが多くあります。

こういつた毎日の中で自分自身を振り返る度に、私は、卒業式で各岡部長様がおっしゃられた、「常にグローバルな視点に立ち、地球的規模で物事を考え……」という、あのお言葉を思い出します。そして、常に自分を支えているのは、立命・産社で学んで得た、事象への深い洞察と理解(良識)の大切さと深い友情を土台に築かれた。私自身、であることを体中で感じます。

この頃、その愛すべき友人達も、順番に新しい一歩を踏み出して行きます。結婚式はもう同窓会！この前会ったのが先月だろうが、三年ぶりだろうが、踊り出したいくらい嬉しいのに、加えてこのおめでたさ、わがことのように涙することができる友のいることに、限らない喜びと感謝の念を抱きます。

「23人の父として」

鈴鹿市立栄小学校勤務
佐竹 博 胤
(78年卒)



あれは、桜の花が春風にまい散るとてもあたたかな朝でした。新学期、始業式の朝、子ども達にわたりやくなくんてあいさつすればいいの……と胸をときめかせながら、着任式の体育館入口で待っていました。今春、それまで勤めていた四日市市立笹川中学校(社会担当)から亀山市の自宅へ少しも近くにとの理由で転任の希望を出していたところ、新しい勤務地で初めて子ども達と出会うという時のことです。

こわい……口ぎたない……悪い乱暴な言葉づかいをして、生徒を制する……といった習慣が身についてしまっている自分が、低学年の児童にも親しみをこめて、しかもよく理解できる言葉づかいでいさつをしなればと、すこく緊張していた自分を覚えています。

五年一組……男子一五人、女子八人となんともめくまれた学級人数で、子ども達は皆、とても明るく、のびのびとして、素直で人なつこい……最初の日久しぶりにオルガンで「春の小川」を

卒業して七年余、現在会社の人事に居るので、久しぶりに母校に行きました(もちろん求人活動のため)。まず驚いたのは大変学舎等が整備され、立派になり、かつきれいになったこと。

次に女子学生が美しくなったこと(私の同年代の女子OBの方、ゴメンナサイ)等です。しかも外見だけではなく、女性初の市長が本学のOBだった。長谷川投手、古田捕手も本学野球部OBがプロ野球で活躍したりと立命を築立った人々の活躍がマスコミにざわしていることも事実である。

三陽物産株式会社勤務
渡 辺 洋 明
(84年卒)



「卒業して思うこと」

長所をつぶしていたりすることもあり、また、色んな問題をかかえている子供に、心からやさしく接するためには、

自分自身の心に余裕が必要です。この夏も家族(妻・長女小一・次女五才)とジャカルタ・バリへ九日間でかけました。精いっぱい充電して、色んな分野で活躍している友人と話をし、つねに問の中のかわずにならないうう気をつけたいものです。



現代の学生について、いろいろ言われている。紙面を通じ一緒に考えてみたい。

■現代学生考

様変わりの学生実態



産業社会学部教授
久津内 一雄

八〇年代の後半以降言われた「様変わりの学生実態」を産業社会学部に即して一言で言えば、「新しい層」が形成されつつある実態ということになる。九〇年度の産社の学生実態調査に基づきながら敷衍してみたい。

まず、第一に「様変わり」をしたのは学生の住居形態である。厚生課の調査によると、九〇年度の本年における新入生下宿割合にみる特徴は、マンション形態の一層の増加（全決定数の二四・五％）と専有設備付き（キッチン、バス、トイレのいずれか、または全部）の形態がはじめて七〇％台に乗った（七一・八％）ことに象徴されている。マンション・アパートと下宿・間借り

すると、九〇年度の産社の学生のマンション・アパートの比率が五年前の立命館大学の平均と比べて五〇ポイント以上も高くなっている。住居選択に見られる学生の嗜好の著しい変化は彼らの経済観念に決定的な変化をもたらしている。すなわち、生活費全体の三〇％～五〇％の比率を占める住居費とそれに相応しい耐久消費財を確保するために食費と書籍代を切り詰める傾向が強まっている。また、アルバイト時間の増加傾向とも関連している。

次に、「様変わり」をしたのは親の年収構造と社会階層である。厚生課による新入生を対象にした調査では、八八年度以降連続して父母の家計所得は、七〇〇万円以下層が減少（八八年度五・七％、九〇年度四・五・二％）し、七〇〇万円以上層が増加している（八八年度四三・三％、九〇年度五四・八％）さらに、低所得層の減少傾向が見られ、四〇〇万円以下層（八八年度一八・一％、八九年度一六・三％、九〇年度一三・〇％）が漸減傾向を示している。いっぽうで、一〇〇〇万円以上の層は、ほぼ五人に一人の割合になっている。親の年収が一〇〇〇万円を超える産社学生の比率は二五・四％で九〇年度の厚生課の調査結果を上回る数値になっている。つまり、親の年収が一〇〇〇万円を超える比率が立命館大学全体の平均では五人に一人の割合であるが、産社では四人に一人の割合で親の年収が一〇〇〇万円を超えていることになる。これは女子学生比率の高さに起因していると思われる。それにしても八五年度の調査で一〇〇〇万円を超える全学生の比率が六％であり、五年後には二〇％に達した事実をどう評価すべきであろうか。

九〇年度産社の調査での親の年収構造の男女間結果で際立った特徴をなすのが八〇〇～九〇〇万円層と一〇〇〇～一二〇〇万円層の女子学生の比率の高さであり、逆に六〇〇万円以下層の比率の低さである。さらに、男女間の特徴は、六〇〇万円未満の層に男子の弱が占め、八〇〇万円～一〇〇〇万円未満の層に女子の弱が占めている点である。明らかに、女子学生のほうが男子学生と比較して、高額に傾く傾向を示している。これは、都市型四年制大学で女子を学ばせることのできる社会階層の年収の相対的高さを物語っている。

以上の「様変わり」は、第三次長期計画の「国際化」・「情報化」という「平和と民主主義」の教育理念の創造的展開の中で「新しい層」の学生が生まれつつあることを物語っている。このことは、以前の受験生のみならず、以前の大学の学生たちの率直な印象であった「赤い」・「暗い」・「ださい」大学のイメージから「教育内容の充実」と「偏差値」知名度の上昇の大学としてのイメージに変わりつつあることと関連している。とりわけ女子学生の比率の増大はキャンパス・イメージの刷新に止まらず、「新しい層」を形成する要因となっている。



この「新しい層」は、受験学力の向上と親の年収の伸びに対応しているが、立命館大学の大学進学動機や本学受験のイメージを大きく変えようとしている。さらにこの層はキャンパス・ライフを総合的に享受しようとしており、教学実態だけからでは見えてこない多様な顔を持っている。

この層は「教室という枠組み」にとらわれず、セカンド・スクール、課外活動、アルバイトなどの場で学び成長し、人間発達と多様なチャネルを持つている。学生たちは就職面接の場で人間成長の「三種の神器」として、課外活動とアルバイトと就職活動とを誇らしく語るようである。

この層は根からの楽楽家ではなく、かといって悲観論者でもない。あえて言えば現実主義的である。彼らは「友人・先輩との付き合い」・「クラブ・サークル」・「アルバイト」・「異性との交際」の順に力を傾け、人間関係にこのほか気を遣っている。その反面で、将来の進路に不安や悩みを抱えている青年たちでもある。そして、彼らが「老人」社会となった二一世紀の日本を支える人々でもある。

■現代学生考

現代学生の下宿考



立命生協ブレイガイド店長
泉 憲章（75年卒）

私の担当する下宿斡旋で今年は新入生にとって多難な年となった。というのは、一般入試の合格発表後、二月中旬に下宿斡旋会場をオープンすると、わずか一週間もたたないうちにマンション物件がなくなってしまったのである。

入りたいと希望する。しかし、ここ数年の京都の地価、建築費の高騰でマンション建設も鈍化し、新築マンションの家賃急騰（今年は五万、来年は六万を超えるといわれる）九二年をピークとする学生人口増はマンションの回転率さえも低下させてきている。

数年前であれば、日当たりが悪いとか隣がうるさいなど、マンションからマンションへの引っ越しはほとんど簡単にファッションのように行われていた。年々のマンション探しの変化はマンションに居住する学生の引っ越し思案の状況も生み出す。

毎一年一、五〇〇名の新下宿生にとって、マンションへ入居する確率はわずかに減りつつある。

なぜ、こんな状況が
新入生のマンション希望は八割ぐらい、ほとんどの新入生がマンションに

入りたいと希望する。しかし、ここ数年の京都の地価、建築費の高騰でマンション建設も鈍化し、新築マンションの家賃急騰（今年は五万、来年は六万を超えるといわれる）九二年をピークとする学生人口増はマンションの回転率さえも低下させてきている。

数年前であれば、日当たりが悪いとか隣がうるさいなど、マンションからマンションへの引っ越しはほとんど簡単にファッションのように行われていた。年々のマンション探しの変化はマンションに居住する学生の引っ越し思案の状況も生み出す。

毎一年一、五〇〇名の新下宿生にとって、マンションへ入居する確率はわずかに減りつつある。

なぜ、こんな状況が
新入生のマンション希望は八割ぐらい、ほとんどの新入生がマンションに

入りたいと希望する。しかし、ここ数年の京都の地価、建築費の高騰でマンション建設も鈍化し、新築マンションの家賃急騰（今年は五万、来年は六万を超えるといわれる）九二年をピークとする学生人口増はマンションの回転率さえも低下させてきている。



神戸市役所民生局

「産社の会」結成さる！

「われら福祉の砦なり」

加藤和彦（78年卒）

立命館出身の行政マンは数々あれど、福祉の専門職で同窓会をつくっているのはそうザラにもあるまい、と自画自賛しているのが、我「産社の会」である。とはいえメンバーは七人、ちと淋しいのが本音である。

加藤先輩、経験豊富、指導力抜群の松尾先輩、この辺が三巨匠といったところか。その他、名前も聞けば「あーあのひと」と（その意味は色々）言われることと受け合いである。

ところで、我々の嘆きは新人会員を

「産社の会」は、神戸市役所の民生局の社会福祉職で採用された産社の出身の会である。それゆえ、ケースワーカー、児童指導員を生業とするメンバーの会ということになる。我神戸市役所民生局の勢力図は、何といつても関学ボーイが横綱格である。管理職からヒラ役人まで多士多才で、石を投げれば関学に当たる、と言われるほど、次に同ヤンが数を誇り、大関クラスといったところか。その後は日福大あたりある。

お父をはいってか、まづ小結としておこう。そこで、我立命人であるが、数こそ七人と少ないが全て個性派ぞうい。もし、神戸市で福祉職になつたならば、絶対一度は耳にする名の持ち主ばかりである。その質とエネルギーの高さで閑脇としておこう。むろん貴花田である。

簡単にメンバーの紹介をすれば、長田スラムの良心といわれる川島先輩、保護課にあつて生活保護行政の要石、

近年になり、神戸市の社会福祉職に大阪府大という伏兵が出現している。なにやら噂では、神戸市に標準をあわせ学校ぐるみの就職活動（試験問題のストククや模試など）をしているとか、産社の事務局にも、是非とも負けないぐらいの活動を期待したい。

同じ大学出身とは不思議なもの、何かと力になるものである。「産社の会も年一回は集まり、快気炎をあげたい」と思っている。

産社系サークル紹介

卒業生からの「おたより」の中にも、在学中はサークルに所属していたが、今、そのサークルはどうなっているのか。消息を知りたいという声が寄せられています。「産社系サークル」に焦点をあてて、今年度の「学術ア・ラ・カルト」より転載しご紹介させて頂きます。(願不同)

マスコミ問題研究会

私達マス研(略称)では、男女は勿論のこと学部(産・法・経・文・国・理)や同生を超えた様々な個性的な人間、約三十名が活動をしております。活動内容とは、週一回マスコミについての基礎を学ぶ基礎学習会と、週一回に同じ興味・対象を持つ者同志が集まって行なうテーマ別学習会があります。そこでは会員それぞれの意見を尊重し、一人一人が考えの姿勢を大切にしながら活発な意見交換が行なわれています。その為、マスコミに対して漠然としたイメージしか持っていない人でも十分に活動してゆけます。又、その他にも春・夏と年二回の合宿、前期・後期の各総会コンパ・七夕コンパ・春秋のハイキング・ボーリング・ソフトボール etc、楽しい企画が目白押しです。サークルを離れても、楽しい友人・先輩との語らい、下宿で鍋をついたりカラオケなんかに رفتりして楽しく過せます。私供、会員一同皆さんの学生生活を無駄にはしないと確信しております。マスコミに少しでも興味がある人、これを読んでマス研に対して興

社会学研究会

でお越し下さい。やさしいお兄さん、お姉さんが皆さんのお越しを待っています。

我々社会学研究会は大学で学術をやるサークルの一つとして位置づけられその歴史は産業社会学部創設とともに歩んできました。楽しい雰囲気があれば、サークルでないと考えていて、コンパ、ボーリング、合宿などの企画を行い、会員どうし楽しく活動しています。この楽しい雰囲気をベースにして学術サークルとして学習会をしています。

では何故、何人かで集まって共同研究をするのかというと、一人で学習をするのには限界があり、そしてなによりも楽しくないからです。共同研究すれば、自分の考えも深まり、また発言する能力もみがかけます。

では具体的に何を学習するのか。さまざまな社会現象を理論的にどう解釈

校友スクランブルパート2

中村惠子

(旧姓齊藤)

「よりよい社会とする為
考を出し、行動しよう」



（'77年卒）

昨年六月二十日、私は、自民党政調環境教育普及小委員会で、国会議員、文部政務次官、環境庁高官を前に、「ゴミ減量化の為に市民運動について」と題し、講師を務めた。全国市民団体の中から、唯一人選ばれた責任から、ゴミ減量、資源化で、問題となっている事、企業、行政への要請と市民へのPR方法等、歯に衣を着せず指摘した。「この話が あった時驚いた。しかし、政策決定をする人達にこそ、毎日、台所でゴミの分別をしている主婦の視点を知ってもらう必要ありと考え、引き受けた。」

そもそも、平成元年三月に、よりよい町にする為に自ら考え、実践する。をモットーに、「ゴミの減量、資源化、

を主な活動テーマとし、市民、行政、企業へ総合的な働きかけと実践をしてきた私達「伊達市を考える会」の活動を知った読売新聞の記者が、論点。に原稿依頼してきたことが始まりであった。その論点の中の「ゴミ有料化で減量した」。私達の具体的な実践方法の二点が全国的に注目を浴び、先の自民党のみならず、全国のTV、新聞雑誌等の取材、原稿依頼、講演依頼で大変忙しい毎日となっている。初めはゴミ有料化案を出すだけで、痛みを感じる市民へ「ゴミ問題への愛情ある総合的ビジョン」を示さない市に対し怒りを感じ、何と可愛想な市民なのだろう!!という気持ちから始まったことであった。曲りなりにも中・高と環境問題に興味をもち、大学でも、産社論集に「琵琶湖総合開発と地域計画」という論文を友人と書いていた。ここで行動を起こさなければ、今迄学んで来た意味はないと思い、勇気を奮い会を結成した。その時、三番目の息子は、まだ一才であった。私は昔から、子供は三才迄は、自分の手で育て、人生の豊かな時間をすごそうと決めていた。それ故に、家事・育児をきちんとすることに一番気を使った。従って、会の運営等では、効率という事を常に心にかけて動いている。しかし、この三年間、家庭にも、子供にも何ら問題なく、しかも行政も企業も、私の提言を受け入れ

てくれているのは、有難いことで、この際には色々な人の協力があり、本当に感謝している。今年は、「ゴミ処理有料化の波及効果」というテーマで論文をまとめ、廃棄物学会で、全国の市民団体のうち唯一の口頭発表となった。やればやる程、奥の深いゴミ問題、環境問題である。一生のテーマとして日本、世界を考えて、足元から行動したい。

「伊達市を考える会」の活動は岩波新書「ごみとリサイクル(早大寄本教授著)、財クリンジャパン雜誌、主婦の友九月号、雑誌「テラ」等にも紹介されています。

[illegible]

都市問題研究会

都市問題研究会は、産業社会学部一部公認サークルとして、都市問題研究

をはじめさまざまな活動を行っています。具体的に例年を振り返ってみますと、まず、春の新歓行事（大夜祭、コンパ、ボーリング等）に始まり、五月のソフトボール大会参加、九月の夏合宿（昨年は高知県の予定が台風の

参加（大夜祭、学園祭企画等）、十二月には、一年間の研究成果の発表の場である、ゼミナール大会参加や打ち上げ、追い出しコンパなど年間を通して盛り上がります。また、都市問題研究会は

古稀閑話

退職された先生はいま……

今年末で古稀を迎えます。還暦、古稀、喜寿、傘寿、米寿、卒寿、白寿と並ぶなかで、古稀だけが唐詩の李白と比ぶ詩聖杜甫の詩から生れた貴種の詞です。六〇までは論語為政篇の有名な文章を寸借して、志学、而立、不惑、知命、耳順と落着いた詞がありますが、肝心の「七〇而從心欲所、不踰矩」からはシャレ詞ができていない。孔子は七十三才で没。そこでというわけではないでしょうが、杜甫の曲江という詩から「人生七十古来稀」を借り出して代用しています。和製のやたらと寿のつく甚だ散文的なことは遊びの語とは大違いで、この詞の背後には、時代と共に激動流転する唐史と杜甫個人史の苦難が籠められています。安禄山の乱（

古川勝弘

(本学名誉教授)

西歴七五五）で唐が倒れ、四五才の官吏杜甫は希望という詩で「國破山河在、城春草木深」と嘆きます。翌年唐が再起しますがいろいろな問題で官仕が面白くなく、毎夜曲江のほとりの酒楼で憂さばらし。水くもない人生、とても七〇はむり、好きな酒でものんで暮春を楽しもつ、わが身も春と同じく流転する定めだ、という物憂い無力感と沈鬱が流れています。杜甫四七才。翌年、官を棄て詩一筋の漂泊、五九才で江南の舟中に生を終えます。

平成の今、七〇は普通に古稀に非ず不稀だ、再出発の年だといって、月性の「男子立志出郷関」に倣い、棺入り出関所デカンショ（出棺所に非ず）を踊るという元気な御仁もいます。古稀は



若いヨ花垂れ小僧ヨイヨ早く芽を出せガキの種ヨイイ棺はイラナイ出関所 喜寿も傘寿も花なら薔 色も香もある美老年 棺はマダマダ出関所 学はともかくこゝ迄生きた せめせ米寿の峠まで 棺はカエシテ出関所 昔恋しい墳墓を離れ 到る処の青山で棺はマクセテ出関所と、老春真ッ盛りです。

古稀か不稀か。龍樹の中観や老荘の道でも読んで、二稀の間を、阿吽の呼吸で、矛盾緊張みなきるファシーのなかに捕えよということでしょうか。

八・一五記

二年前の校友会で古稀の前祝をうけました。改めて多謝多謝。

1991年度演習テーマ		担当者
産業・社会コース	社会計画と民主主義	福森 啓 彦
	現代社会と主体の状況	木田 融 男
	現代国家と地域・エスニックプロブレム	國 廣 敏 文
	「日本の経営」の国際化に伴う諸問題	辻 勝 次
	サービス経済化をめぐる諸問題	長 澤 克 重
都市・生活コース	国際化のなかの産業とくらし	林 堅 太郎
	現代日本経済研究 —高度成長期の意義をふまえて—	松 葉 正 文
	ハイテク時代・情報化社会の科学技術論	宮 下 晋 吉
	都市化社会と人間の問題	遠 藤 晃
	現代日本の社会史的研究	井 口 和 起
発達福祉コース	文化 —その暗黒と光明—	高 木 正 朗
	地域の再生とまちづくり	高 田 昇
	戦後日本の国民生活の変化と消費文化	竹 濱 (高 原) 朝 美
	水環境計画の研究	深 井 純 一 (高 原 朝 美)
	人間発達と発達保障	荒 木 穂 積
人間・文化コース	社会福祉の諸問題	加 藤 園 子
	現代の社会福祉労働(社会福祉士課程ゼミ)	河 合 秀 隆 (高 原 朝 美)
	近代文化への社会学的アプローチ	赤 井 正 二
	アメリカン・ポップ・カルチャーの受容	池 内 靖 子
	現代文化と現代人の意識	井 上 純 一
コース共通	スポーツ・人間・現代 —スポーツの過去と未来—	草 深 直 臣
	日常生活の社会学	佐 藤 嘉 一
	高度情報化時代の生活環境	須 藤 泰 秀
	現代社会とマス・コミュニケーション	松 田 浩
	人間・社会・文化の心理学的研究	森 田 浩 平
経験社会学と理論構築 —高度化社会のパラドックス—	流行語とスローガン —検証の昭和史—	鹿 又 伸 夫
	家族の行方	木 津 川 計
	関係性の比較社会学 —人間関係の社会学—	中 川 潤 子
		中 村 正

遠藤晃ゼミ第8回OB会開催

日 時：1991年11月3日(祝)

12:00～16:00

場 所：立命館大学中川会館大会議室

連絡先：OB会事務局（立命館大学産
業社会学部遠藤晃研究室内）

OB会会長 中根誠喜

1991年度

全国校友大会

会 場：10月12日(土) 13:00～(受付開始14:00～)

会 所：都ホテル「瑞穂の間」京都・けあけ TEL(075)771-7111

会 費：7,000円：ご家族券5,000円(お一人につき、当日券のみ)

今年のアトラクションは福利抽選会！

立命館大学校友会

京都府北区寺町東山町11番地
TEL 075-465-8120

入会される方は同封の「振込通知票」に必要事項を記入の上「送金下さい」なお既に送金済の方は不要です。さらに学部創立20周年を記念して作成いたしました「学部づくりの20年」(産業社会学部20年小史)三千元(送料含)にて頒布しておりますのでぜひこの機会にあわせて購入していただくことをお願いいたします。

産社校友会加入のお願い



お便りください！
校友さんしやについての感想・ご意見・日頃感じていること・近況など自由に書いて、編集室にお便りをよせて下さい。返信については、今号に同封していますハガキをご利用下さい。

開催日 一九九一年十月二十日(日)
時間 役員会 午後一時三十分
(産社会学部・研心館二階)
懇親会 午後二時三十分より

現代資本主義研究会

今、世界をみれば、ソ連のベレストロイカが行きづまり、バルト三国の独立運動、東西ドイツの統一、湾岸戦争、

自分自身で学習し、他の人との討議のなかでより内容をたかめていったり、同じ目的意識を持った先輩や仲間と楽しく学ぶことができる場です。その一方で学習会が終わると、遊び大好き集団へと変身してしまうのです。学術系サークルというと、暗い、というイメージがありますが、都市問題研究会をみれば、それが単なる誤解であるということがよくわかります。

また、私たちはサークル活動を通して互いの人生に関心をもち、人間的にも大きくなろうという目標をもつて交流活動を行っています。昨年は五回の

(名称変更検討中です)

南アパルトヘイト廃止への動き、米国家経済の衰退などなど、歴史が日々音をたてて動いています。あなたは、一見無秩序に動いているようにみえるこの世界を科学的に捉えたいと思いませんか？

号に掲載予定です。

同OB会には、なかなか雰囲気の中ですめられ、名称を「立命館大学産業社会学部小林ゼミ校友会」とし、幹事、事務局が選出された。詳しくは次

合宿、夏の四国旅行などなどよい思い出がたくさんできました。
みなさん、大講義だけでは本当には学べません。自分で本を読み、考え、みんなで討論することによってこそ主体的に学ぶことの面白さが味わえます。自分を磨きたいと考えているあなたと会える日を、会員一同楽しみに待っています。「来たれ！現資研へ！」

小林幸男ゼミOB会結成される

昨年、三月退職された小林幸男先生を開いて、「小林幸男ゼミOB会」が、去る九月十四日(土)に結成された。当日は、仙台はじめ遠方からの参加もあり約四十名の出席状況となった。

「第七回役員会開催のお知らせ」
一九九一年度産業社会学部校友会役員会(第七回役員会)を下記の通り開催いたしますので、各期生別幹事役員の方はご出席方、よろしくお願ひ申し上げます。